

溶接施工技術科

【コース概要】

『溶接』は生活のいたるところで身近に利用されている接合技術の一つであり、『ものづくり』における基幹技術の一つです。

【訓練で行う溶接】

- 『炭酸ガスアーク溶接(CO2)』現在一番多く利用されている溶接法です。
- 『TIG溶接』鉄鋼をはじめ、ステンレス鋼やアルミニウム合金などの溶接に利用されています。
- 『被覆アーク溶接』現在でも現場で多く利用されている溶接法です。
- 『ガス溶接・溶断』主に溶断・加熱作業に利用されているガス(酸素・アセチレン)を用いた溶接法です。



【取得可能資格】

- ガス溶接技能講習
- 玉掛け技能講習
- アーク溶接等の業務に係る特別教育
- 自由研削といしの取替え等の業務に係る特別教育
- クレーン運転の業務に係る特別教育

修了生の声【Nさん】

再就職にあたり、資格や技術がない自分は難しいのではと思い、訓練説明会を見学し、楽しそうに溶接をしている風景や科の内容を見て、やってみようと思いました。わからないこともたくさんありましたが、先生や経験のある訓練生仲間から教えてもらい、色んなことを習得することができました。就職活動でも履歴書や職務経歴書の書き方や面接時の指導などを就職相談員の方から教えてもらい、不安になることもなく再就職することができました。

修了生の声【Tさん】

前職では生命保険の営業をしていました。溶接の技術を身に付けたくて金属加工科に入りました。溶接の授業が楽しくて日々没頭していました。特にTIG溶接が好きでキレイなビードが出せた時には最高の気分になりました。溶接の他にもクレーンや玉掛・グラインダーやプレス等様々な技術を学び資格を取ることが出来ました。

今は造船の仕事に就いてもうすぐ2年になります。船造りの一番最初の工程を担っています。まだまだ覚えることもあり日々忙しく奮闘しています。時には失敗もしますが、なにより尊敬出来る上司と頼れる仲間がいるので、安心して働いています。就職で悩んだとき「あなたなら出来る!大丈夫!」とってくださった先生の言葉が今も私の糧となっています。少しでも自分の可能性を広げるためにポリテクセンターに思い切って入学して本当良かったなと思いました。



炭酸ガスアーク溶接、TIG溶接、被覆アーク溶接の 技能を身に付けて製造業で活躍しよう!

4月、10月【アーク溶接・CO2溶接】



アーク溶接特別教育を実施します。炭酸ガスアーク溶接の基礎を行います。

5月、11月【CO2溶接・クレーン・ガス溶接・切断】



ガス溶接技能講習とクレーン運転特別教育を実施します。炭酸ガス溶接のJIS課題を行います。

6月、12月【アーク溶接・CO2厚板溶接】



被覆アーク溶接のJIS課題を行います。炭酸ガス溶接の多層溶接を行います。

7月、1月【金属加工基本・玉掛け】



製造業に必要な加工の基本作業を行います。自由研削といし特別教育と玉掛け技能講習を実施します。

8月、2月【TIG溶接】



ステンレス鋼のTIG溶接を行います。

9月、3月【交流TIG溶接・機械板金】



アルミニウム合金のTIG溶接や機械を用いた板金作業を行います。



【必要費用】

10,000円程度

その他:作業服・作業帽・安全靴・手袋・保護メガネ等は、各自で準備してください。

【受験により取得可能な資格】

■溶接技能者評価試験(JIS検定)

- ・被覆アーク溶接
- ・炭酸ガスアーク(半自動)溶接
- ・TIG(ステンレス)溶接

【想定される就職先職務】

- ・溶接工
- ・鉄工・製缶工
- ・板金組立工
- ・金属製品製造工



採用企業からの声

【A社】 溶接の基礎知識を習得しているので、当社の業務を未経験の方よりは早く習得できている。仕事にも真面目に取り組み、常に探究心をもって作業についているので、将来がとても楽しみである。また機会があればポリテクセンターから採用したいと考えています。

【B社】 現在4名のポリテクセンター修了生が就業しています。訓練の期間中に就業に必要な資格を取得しているので、すぐに関連する作業を行わせることができるので大変助かっています。また溶接も基本的なことについての知識・技能を有しているので、一般の未経験者を採用するときと比べ、一から教えることなく、作業に従事できています。



テクニストラクターからのコメント

当科は、溶接の習得に重きを置いたコース設定としていますので、造船や鉄工関連の仕事に再就職をしたいと考えている求職者の方や溶接について学びたいと思われている未経験者の方にも最適なカリキュラムとなっていますので、是非受講してみてください。